令和８年度学生教育研究災害傷害保険説明会

主催：公益財団法人日本国際教育支援協会

1. 制度の概要

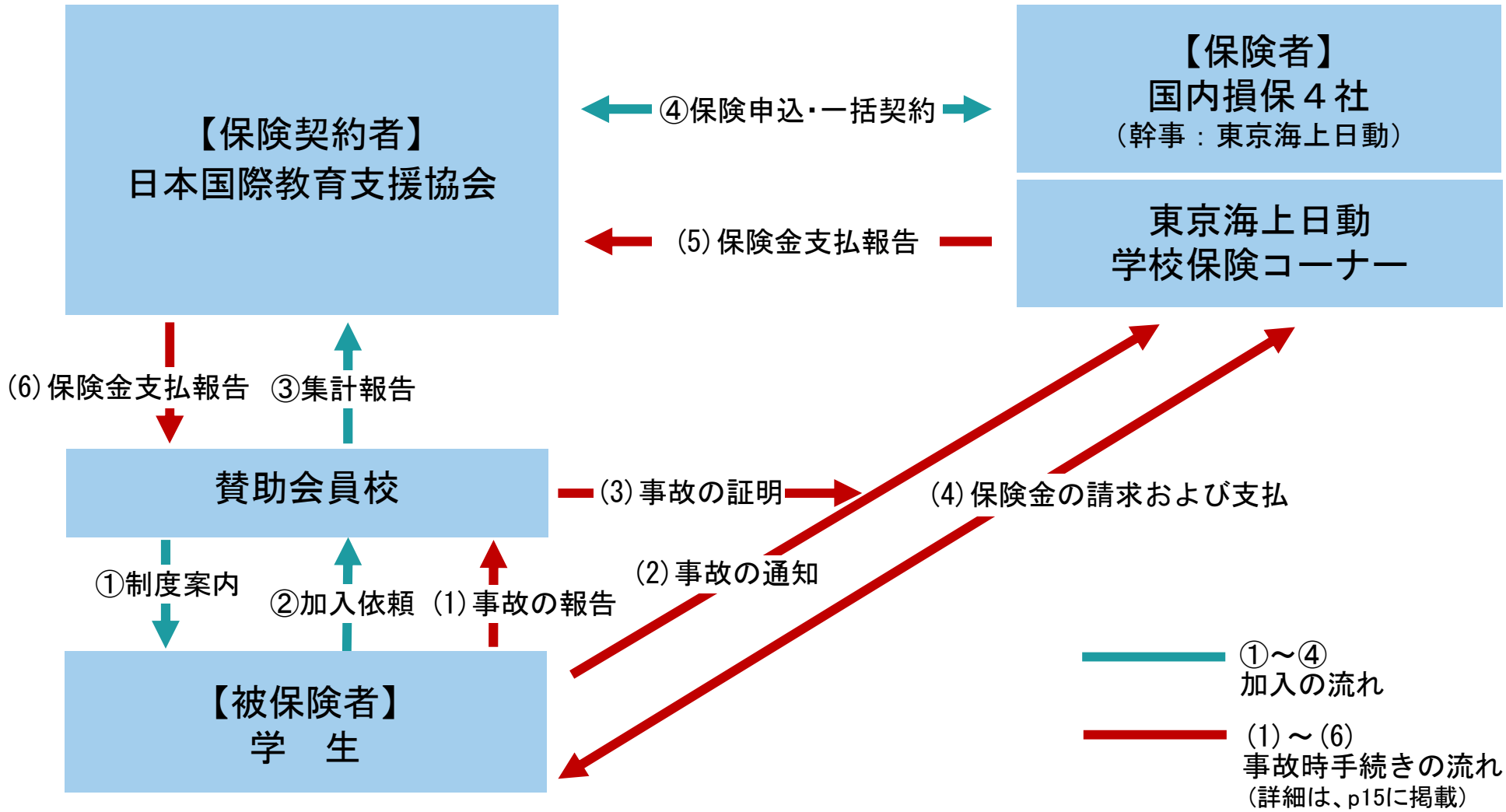
(1) 創設の目的と経緯

学生教育研究災害傷害保険とは、大学生が教育研究活動中に被った災害に対し必要な給付を行い、大学の教育研究活動の充実に資することを目的としています。

全国規模の互助共済的な災害補償制度について、大学関係者からの強い要望に応える形で創設された制度です。

昭和45年10月	日本学術会議が、内閣総理大臣宛「大学院生など無給研究者の研究災害補償制度の確立等について」勧告提出
昭和49年６月	国立大学協会が、文部大臣宛「正課中における学生の災害事故対策について」要望書提出
昭和50年８月	文部省設置「学生の教育研究災害補償制度に関する調査研究会」が最終報告を公表
昭和51年１月	学生教育研究災害傷害保険の特約書（保険約款）を大蔵省が認可
昭和51年４月	財団法人学徒援護会が学生教育研究災害傷害保険の制度運営を開始

(2) 学校・協会・保険会社の役割



(3) 学研災の補償の全体像

学研災をベースに、手厚い補償を上乗せで追加できます

学校管理・承認外の活動の事故も補償（24時間補償）

付帯学総 ／ インバウンド付帯学総

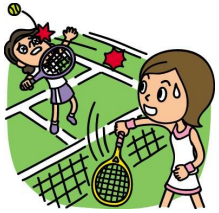
- ✓ 病気の治療
- ✓ 救援者費用
- ✓ 育英費用
- ✓ 生活用動産
- ✓ 借家人賠償
- ✓ メディカルアシスト

付帯海学

- ✓ 病気の治療
- ✓ 救援者費用
- ✓ 携行品損害
- ✓ 航空機手荷物・遅延
- ✓ 危機管理支援

正課・学校行事・課外活動や学校施設内での事故を補償

学研災（傷害保険）

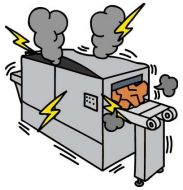


- ✓ 正課・学校行事中のけが
- ✓ 課外活動中のけが
- ✓ 学校施設内にいる間のけが

通学特約/接触感染特約

- ✓ 通学･施設間移動中のけが
- ✓ 臨床実習中の事故の接触感染予防措置

付帯賠責



- ✓ 他人に対する法律上の損害補償

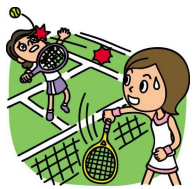
学校の皆さまのご協力のもと、低廉な負担で学校管理下の災害補償を実現

(4) 学生教育研究災害傷害保険（略称：学研災）

正課中、学校行事中、学校施設内にいる間及び学校施設内・外での課外活動中（クラブ活動中）における傷害事故を補償します。

また、「通学中等傷害危険担保特約（略称「通学特約」）」を付帯することにより、通学中および学校施設等相互間の移動中における傷害事故も補償します。

さらに、「接触感染予防保険金支払特約（略称「接触感染特約」）」を付帯することで、臨床実習中における針刺し事故などによる感染症予防措置に対応できます。



保険料

区分	昼間部	夜間部	通信教育
普通保険	2,300円	400円	100円
通学特約	1,000円	1,000円	40円
接触感染特約	70円	70円	70円

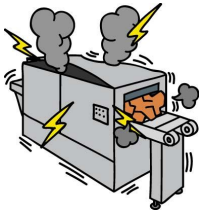
保険金

補償範囲	死亡保険金	後遺障害保険金	医療保険金	入院加算金
「正課中」 「学校行事中」	2,000万円	120万円～3,000万円	治療日数1日以上 3千円～30万円	1日につき4,000円
「学校施設内」 「通学中」 「学校施設間移動中」	1,000万円	60万円～1,500万円	治療日数4日以上 6千円～30万円	
「課外活動（クラブ活動）中」	1,000万円	60万円～1,500万円	治療日数14日以上 3万円～30万円	
「臨床実習中（接触感染特約）」	1事故につき15,000円			

上記は、Ａタイプ（４年間）加入時の保険料及び補償内容です。

(5) 学研災付帯賠償責任保険（略称：付帯賠責）

正課中、学校行事中、課外活動中またはその往復で、他人にけがを負わせたり、他人の財物を損壊したことにより、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について補償します。



保険料および保険金

区　分		Aコース	Bコース	Cコース	Lコース
		学生教育研究賠償責任保険（略称「学研賠」）	インターンシップ・教職資格活動等賠償責任保険（略称「インターン賠」）	医学生教育研究賠償責任保険（略称「医学賠」）	法科大学院生教育研究賠償責任保険（略称「法科賠」）
対象となる活動範囲		正課中、学校行事中、課外活動中およびその往復	正課、学校行事または課外活動に位置づけられるインターンシップ、介護体験活動、教育実習、保育実習、ボランティア活動およびその往復	医療関連学部・学科の正課中、学校行事中、課外活動中およびその往復	対人・対物賠償：法科大学院等（法曹コースを含む）の正課中、学校行事中、課外活動中およびその往復
支払限度額	対人賠償 対物賠償	対人賠償と対物賠償合わせて1事故につき1億円 免責金額（自己負担額）0円			
	人格権侵害補償	―			損害賠償請求者 1名当たり 1,000万円 免責金額（自己負担額）0円
保険料（1年間）		340 円	210 円	500 円	1,640 円

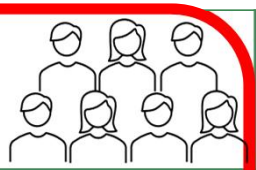
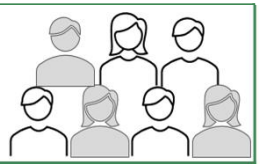
2. 事務手続きについて

(1) 事務用オンラインサービス

学研災NAVI (https://www.jees.or.jp/gakkensai/daigaku.htm) 	「学研災NAVI」は、学研災事務ご担当者向けポータルサイトです。 最新のお知らせ等を随時更新しておりますので定期的にご覧ください。 ✓ 学研災事務に使用するシステムへのリンクが集約されています。 ✓ 事務上必要となる各種様式がダウンロードできます。
学研災管理システム （https://www.jees-gsys.jp） 	「学研災管理システム」は。本協会宛の加入事務手続を行うためのサイトです。 ✓ 加入させる学部・コース等の登録、集計報告・異動の申請等は全てオンラインで行えます。
学研災帳票申込サイト （https://jees-prt.jp/gakkensai/user） 	「学研災帳票申込サイト」は、学内配付用の印刷物帳票の受注用サイトです。 ✓ 加入学生に配布する「加入者のしおり」（保険証券の代わりとなる）、制度周知用のチラシ・パンフレット等をお申し込みいただけます。（費用はかかりません）

(2) 加入形態

学研災は、原則「全員加入」として加入していただくことを前提に、極めて低廉な保険料となっています。なお、全員加入の取扱いが難しい場合は、学生を個別に加入させる「任意加入」を選択することもできます。

	全員加入 	任意加入 
加入形態	学部・学科・研究科等の1学年以上の単位で学生全員を加入させる	学校が個別に学生の申込を受け加入させる
学校機関での決議等	必要	不要
保険始期	保険加入日として決議した日が学生全員の保険始期となる。 （始期は決議日時より遡ることはできません）	学校において申込を受け、保険料を受領した翌日の午前0時
加入者名簿の提出	不要	必要

(3) 加入手続き

学研災・付帯賠責に学生を加入させるには、賛助会員校が学研災管理システムにて加入情報を登録後、保険料を本協会に送金いただきます。

学研災・付帯賠責共通

学部情報の登録
・加入形態を選択（全員加入・任意加入）
・加入タイプ・コースを選択、特約の有無を選択

↓

集計報告、加入者名簿（任意加入のみ）を登録

↓

見積書兼請求書を作成し、提出（加入申請完了）

↓

協会の承認後、見積書兼請求書をダウンロードし、保険料を協会へ送金

↓

手続き完了

(4) 異動手続き

加入学生に異動が生じた場合は学研災管理システムにて契約内容変更（異動）の申請を行ってください。特に保険料の返還等を伴うものについては速やかにご対応をお願いします。

＜異動の申請が必要な場合＞

種別	内容
退学	退学時に保険残期間が1年以上ある場合、年単位で保険料を返還します。
休学※	保険期間中に通算して1年以上の間休学した場合、当該期間に係る保険料を返還します。（手続きは休学期間が終了・復学し期間が確定した後に願います）
コースの変更（付帯賠責）	現在のコースを解約し、新しいコースへの加入手続きをしてください。保険残期間が1年未満の場合、年度途中の解約に伴う保険料の払い戻しはありません。
その他	転部転科、昼夜間等の変更、改姓など

※ 休学中も学研災の保険契約は有効で、万一休学中、学校管理下の活動として面談等で登校する際事故に遭った場合も補償を受けることができます。

(5) 事故時の手続き

SkettBook利用時

事故

✓ 学生がスマホのLINEメニューから入力、通知

事故通知
学生が学校に事故報告、保険会社に事故通知

✓ 学校が「事故通知はがき」を学生に支給
✓ 学生がはがきで通知
（Webでも可）

✓ 保険会社から学校にメールで証明依頼
✓ 学校はメールで回報

事故証明
学校が保険加入・事故証明

✓ 学校が「保険金請求書」を学生に支給
✓ 学生が請求書記入後、学校が加入の確認、学校管理下の事故の旨証明欄記入押印

✓ 治療終了したら学生がスマホで治療報告(請求)

治療報告（保険金請求）
学生が治療内容、期間を報告し保険金請求

✓ 治療が終了し、学校が証明済の「保険金請求書」が作成できたら保険会社に送付

✓ 支払処理後、完了メールが保険会社から学校に送付される

- 保険金支払
- 学校宛報告

✓ 保険会社支払処理後の「保険金請求書」写しが協会から学校に送付される

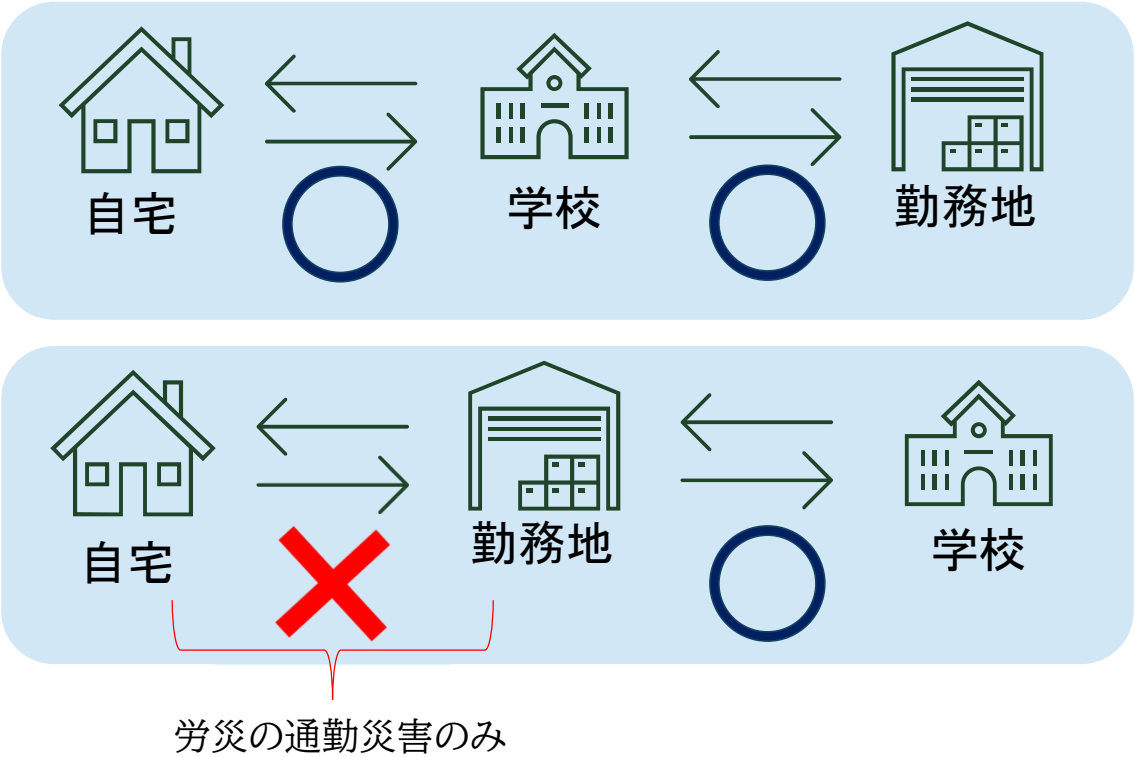
書類手続時

point

- ◆ 30万円未満の請求となる場合、診断書の提出は原則不要※
  ※ただし、請求書類を確認した上で、診断書の提出をお願いする場合があります
- ◆ 通学中・移動中事故は、いずれの手続も通学中・移動中事故証明書が別途必要
- ◆ 賠償責任事故については、書類手続きでの対応となります

(6) 通学中の事故

通学中等傷害危険担保特約の改定により、令和8年4月以降の加入学生については、通学中事故の補償範囲に、学校施設と勤務地の間も含まれるようになりました。
（従前は社会人入試の学生のみ）



- ✓ 「勤務地」とは、原則学生が雇用関係にあるアルバイト先等
- ✓ 労災の通勤災害給付有無にかかわらず左の〇経路中の事故は補償対象
- ✓ 「勤務地」に係る通学中の事故の場合、SkettBook、書類手続のいずれの場合も「通学中事故証明書」に勤務先の証明押印が必要

３．学研災付帯の各保険について

3.学研災付帯の各保険について

(1) 学研災付帯学生生活総合保険（略称：付帯学総）

付帯学総は、学研災・付帯賠責の上乗せとして、学研災加入者が任意に加入できる保険です。

学研災では対象外である日常生活中の事故や疾病治療も対象としており、学生生活を幅広く補償します。

付帯学総の賠償責任補償には、示談交渉が自動でセットされているほか、天災危険補償特約を標準付帯しており、地震・津波等の災害に直接起因する事故におけるけが等も補償されます。

補償内容・保険料（例）

※感染予防費用は医療学部生のみ

ご加入タイプ	自宅から通学の学生（一人暮らしの方もご加入いただくことが可能です。）			一人暮らしの学生		
保険金額						
1 個人賠償責任	1事故 国内:1億円 国外:1億円 限度			1事故 国内:1億円 国外:1億円 限度		
2 死亡・後遺障害 ケガ	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円
3 治療費用(入院・通院) ケガ	治療費用実費	治療費用実費	治療費用実費	治療費用実費	治療費用実費	治療費用実費
3 治療費用(入院・通院) 病気	医療機関の窓口で自己負担した費用を補償			医療機関の窓口で自己負担した費用を補償		
4 救援者費用等	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円
5 感染予防費用	50万円	50万円	50万円	50万円	50万円	50万円
6 育英費用	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円
6 傷害学資費用	100万円	100万円	対象外	100万円	100万円	対象外
6 疾病学資費用	100万円	対象外		100万円	対象外	
7 生活用動産	対象外	対象外	対象外	50万円	50万円	50万円
8 借家人賠償責任				300万円	300万円	300万円

保険料（卒業までの一括払）	おすすめ！			おすすめ！		
地震・噴火・津波によるケガや熱中症も補償 天災危険補償特約あり	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	Dタイプ	Eタイプ	Fタイプ
2032年3月卒業予定者（6年間分保険料）	128,710円	63,790円	53,950円	136,970円	72,050円	62,210円
2031年3月卒業予定者（5年間分保険料）	101,580円	55,020円	47,960円	108,920円	62,360円	55,300円
2030年3月卒業予定者（4年間分保険料）	74,410円	43,630円	38,980円	80,400円	49,620円	44,970円
2029年3月卒業予定者（3年間分保険料）	50,570円	32,680円	29,980円	55,160円	37,270円	34,570円
2028年3月卒業予定者（2年間分保険料）	30,450円	22,230円	20,980円	33,660円	25,440円	24,190円
2027年3月卒業予定者（1年間分保険料）	14,450円	12,310円	11,990円	16,290円	14,150円	13,830円

(1) 付帯学総 ～ ①他制度との比較

学内で同時にご案内されることが多い他制度との比較

- ✓ 学研災との補償の重複を最小限とした学研災の上乗せ制度で、学校単独では実現が困難なスケールメリットを享受（団体割引▲30%）。
- ✓ けがだけでなく、病気による通院での治療費も1日目から補償可能

各制度同等プラン比較

	付帯学総	制度A	制度B
特徴	✓ 病気の通院治療が1日目から実費補償される ✓ スケールメリットあり/卒業までの一括加入で負担が抑えられている	✓ 学内に店舗があり手続・相談が便利	✓ 感染症対応の補償があり看護系学部にてご案内されることが多い
補償（例・抜粋）			
死亡	100万円（けが） ※学校管理下の事故は学研災で補償 （Aタイプ：最大2000万円）	100万円（病気・けが共通） ＋50万円（事故の場合）	30万円(病気)、475万円(けが)
治療費用	治療費用実費（けが・病気） ※入通院（1日目から補償） ※地震・津波等のけがも補償	入院日額 10,000円（けが・病気） 通院日額 2,000円（けが） ※地震・津波等のけがも補償 ※精神疾患受診時1万円(年1回限度)	入院日額5,200円 通院日額4,200円 ※地震・津波等のけがは対象外
個人賠償	1事故1億円限度（国内外） ※示談交渉付(国内のみ)	1事故3億円限度（国内外） ※示談交渉つき(国内のみ)	1事故1億円限度（国内外） ※示談交渉つき
救援者費用	100万円	10万円まで	―
育英費用	100万円	親・扶養者が死亡／重度障害となった場合 50万円(病気・事故) 扶養者が死亡／重度障害となった場合　500万円(事故)	―
保険料（4年間）	38,980円	64,800円	36,000円

(1) 付帯学総 ～ ②ＮＧＳについて

大学の入学手続きシステムに、付帯学総のWeb加入手続きを組み込んだ『New-Gaku-Sohシステム（NGS）』を導入できます！

<NGSのポイント>

- ✓ 入学手続をペーパーレス化した大学でも、学生(保護者)にオンライン入学手続きとシームレスに付帯学総のご案内、加入手続き機能を提供可能
- ✓ オンライン上のクレジットカード決済でワンストップの加入手続
- ✓ 大学にNGS導入にあたり、費用負担なし

京都電子計算社
入学手続きシステム
『Post@entrance』

遷移

キャリタス社
入学手続きシステム
『e-apply』

遷移

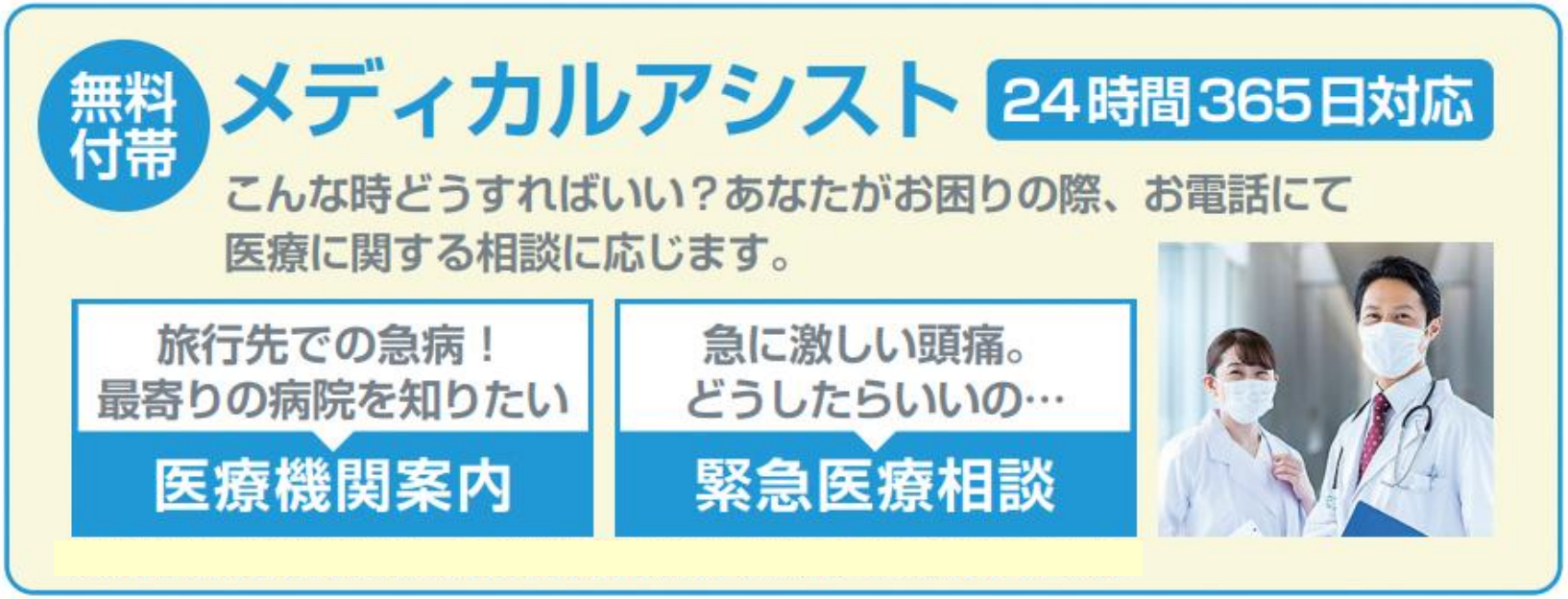
付帯学総Web加入手続き

(1) 付帯学総
～③加入学生向け標準サービス

付帯学総加入の学生向け メディカルアシストについて（自動セット・無料付帯）

<サービス概要>

- ✓ 24時間365日利用可能な医療相談電話窓口
- ✓ 電話窓口には専門医が常駐しているため、症状に応じた的確なアドバイスが可能
- ✓ 緊急医療相談・予約専門医相談・医療機関案内等のサービスをご提供



3.学研災付帯の各保険について

(2) 外国人留学生向け 学研災付帯学生生活総合保険（略称：インバウンド付帯学総）

インバウンド付帯学総は、学研災に加入中の外国人留学生（インバウンド留学生）が、より安心して日本での留学生活を送れるように、大学関係者や学生の皆様からのご要望に応えて創設されました。

補償内容は付帯学総と同様、日常生活中の事故やけが・疾病治療、地震・津波等の災害に直接起因する事故におけるけが等が対象となります。また、加入保険期間は実際の留学期間に合わせて柔軟に設定可能です。

制度案内のパンフレットは英語・中国語・韓国語・ベトナム語版を用意しています。

補償内容・保険料（例）

		留学期間3か月超の留学生用	留学期間3か月以内の留学生用
保険金額	賠償責任	1事故　1億円限度（国内・国外）	
	死亡・後遺障害	100万円	
	救援者費用	300万円	
	治療費用	実費	
	傷害定額（入院日額）		5,000円
	（通院日額）		3,000円

保険料	保険期間　1か月まで		2,240円
	3か月まで		4,060円
	6か月まで	8,060円	
	1年間	11,500円	
	2年間	20,130円	
	4年間	37,410円	

保険期間は1か月単位で留学期間に合わせて設定できます。

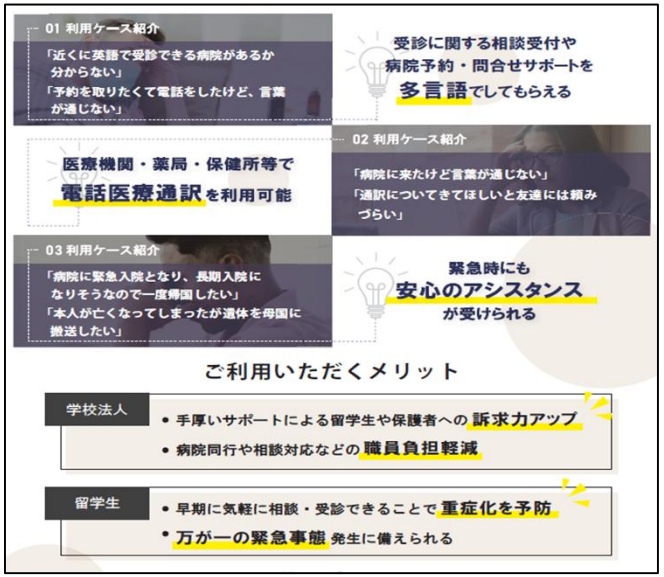
- ✓ 国保加入義務要件に満たない短期留学生向けの保険としても有効です。
- ✓ 留学生の受入環境整備の一環として、万一の事故時に受けられる補償水準を揃えるため、留学生全員加入を選択いただくことをおすすめします。

＜参考＞　インバウンド付帯学総加入留学生向け関連サービス

インバウンド留学生向けトータルサポートサービス（TSS-I）について(オプション)

✓　外国人留学生の不安を解消し、大学・担当教職員の皆様の業務や心理的な負担を軽減
✓　医療相談、医療機関検索・予約代行、医療通訳の提供を行います

※TSS-Iは東京海上インターナショナルアシスタンス（INTAC）社が提供するサービスです。



対応可能言語

英語、中国語、韓国語、
ベトナム語、ネパール語、
ポルトガル語、スペイン語、
ベトナム語、ミャンマー語、
フランス語 etc

	一括加入（50名以上）			任意加入
月額料金（人／税別）	980円	1,080円	1,310円	1,750円
対応言語	2言語 英語・中国語	5言語 英語・中国語・韓国語 ベトナム語・ネパール語	32言語	32言語
対応時間	24時間365日			

(3) 学研災付帯海外留学保険
（略称：付帯海学）

付帯海学は、海外派遣留学生向けの補償制度で、原則として学校において承認された留学プログラム等の参加学生をまとめて加入対象とする制度です。

付帯海学は、学研災の補償を活かした海外旅行保険となっており、付帯学総・インバウンド付帯学総制度と同様に、全国制度とすることで本制度採用校全体のスケールメリットを享受できます。

「キャッシュレス・メディカル・サービス※」を標準付帯

※治療費用を全額保険金でお支払いできる場合に、病院で自己負担することなく治療を受けることができるサービス

補償内容・保険料（例）

スリムプラン

保険金額	傷害死亡	300万円
	傷害後遺障害	300万円
	治療・救援費用	1億円
	疾病死亡	300万円
	携行品損害	10万円
	賠償責任／留学生賠償責任(*1)	1億円

保険料	保険期間 7日まで	3,090円
	14日まで	4,990円
	31日まで	9,420円
	3か月まで	29,110円
	6か月まで	66,680円
	1年まで	141,950円

基本プラン

保険金額	傷害死亡	1,000万円
	傷害後遺障害	1,000万円
	治療・救援費用	1億円
	疾病死亡	1,000万円
	携行品損害	20万円
	賠償責任／留学生賠償責任(*1)	1億円
	航空機寄託手荷物	3万円
	航空機遅延(*2)	付帯あり

保険料	保険期間 7日まで	4,060円
	14日まで	6,260円
	31日まで	11,440円
	3か月まで	32,580円
	6か月まで	73,420円
	1年まで	155,350円

拡充プラン

保険金額	傷害死亡	1,000万円
	傷害後遺障害	1,000万円
	治療・救援費用	無制限
	疾病死亡	1,000万円
	携行品損害	20万円
	賠償責任／留学生賠償責任(*1)	1億円
	航空機寄託手荷物	3万円
	航空機遅延(*2)	付帯あり

保険料	保険期間 7日まで	4,370円
	14日まで	6,770円
	31日まで	12,430円
	3か月まで	36,090円
	6か月まで	81,750円
	1年まで	173,340円

※令和7年度の補償内容・保険料（例）となります。

＜参考＞　付帯海学加入学生向け危機管理サービス

東京海上日動の付帯海学／海外旅行保険専用の**危機管理サービス**である
海外留学生トータルサポートサービス（TSS）で、留学生の皆様に安心と安全をお届けします。

採用大学：約200校

※TSSは東京海上インターナショナルアシスタンス（INTAC）社が提供するサービスです（オプション）。

大学教職員様からいただくお声

- 留学生から日々来る**多様な相談対応**が大変・・・
- サービス利用方法を**渡航前の学生に説明**してほしい
- 過去留学生**トラブルに対処する術**がなく苦労した・・・

TSSの特徴

① **保険との連動**
- 相談窓口がTSS契約者用回線に一本化
- 保険事故の相談は東京海上日動と連携

② **相談しやすい窓口**
- 日本語、英語が話せるオペレーターが対応
- LINE電話で問い合わせが可能

③ **大学との密な連携**
- 原則全て(※)の相談内容を大学へ報告
- 大学は相談内容を把握することが可能

(※) 学生本人から情報開示同意をいただいた案件に限ります

TSSのサービス内容

海外生活相談サービス

- 日常のお困り相談
- 各種トラブルに関するサポート
- 専門医電話相談(要予約)

海外救援サービス

- 緊急脱出サービス
- ガードマン派遣サービス
- 弁護士紹介/安否確認サービス

大学支援サービス

- 入電内容の全件報告
- 渡航前オリエンテーション支援
- 安否確認アプリ提供(オプション)

TSS料金体系

2027年6月1日に料金改定を予定しています

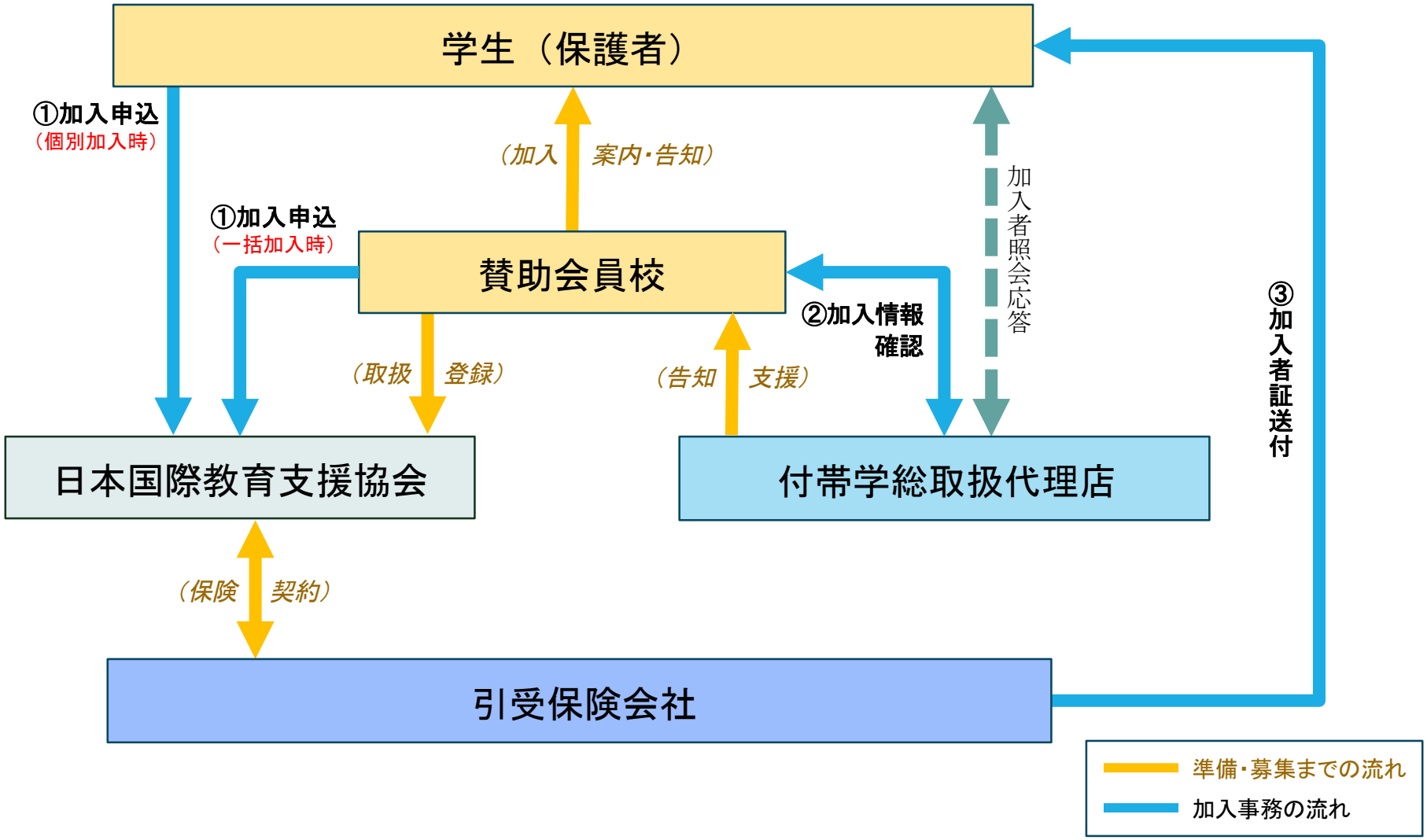
渡航日(TSS始期日)が2027/5/31まで
留学生1人/1日あたり
73円（税込）

渡航日(TSS始期日)が2027/6/1以降
留学生1人/1日あたり
88円（税込）

料金負担者が学生の場合、付帯海学WEBシステムと連動した支払が可能です！

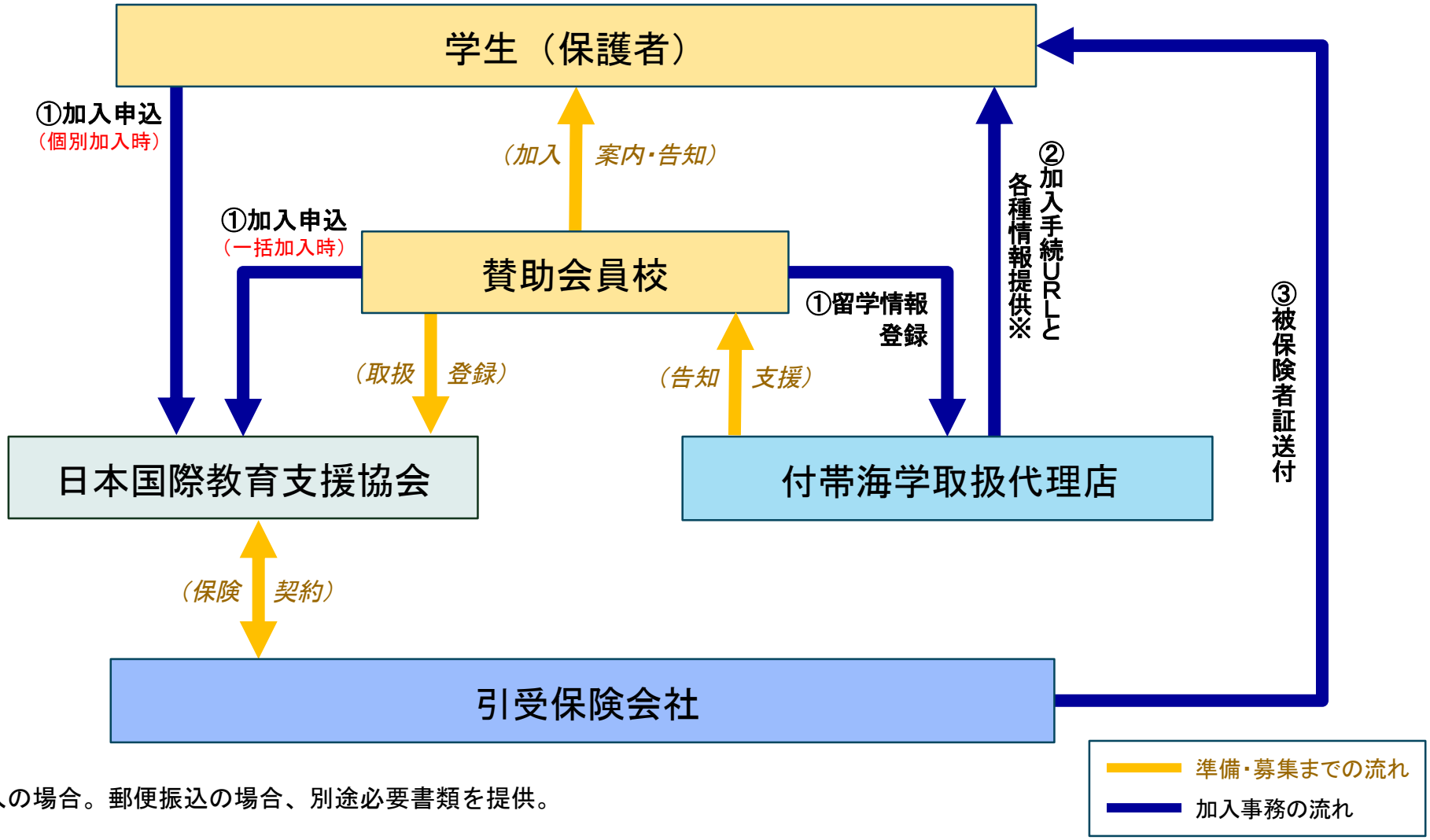
(4) 各付帯保険の事務手続き

付帯学総・インバウンド付帯学総共通



(4) 各付帯保険の事務手続き

付帯海学



※Web加入の場合。郵便振込の場合、別途必要書類を提供。

4. 令和７年度　学研災の概況
（加入･事故の状況）

学研災の加入状況

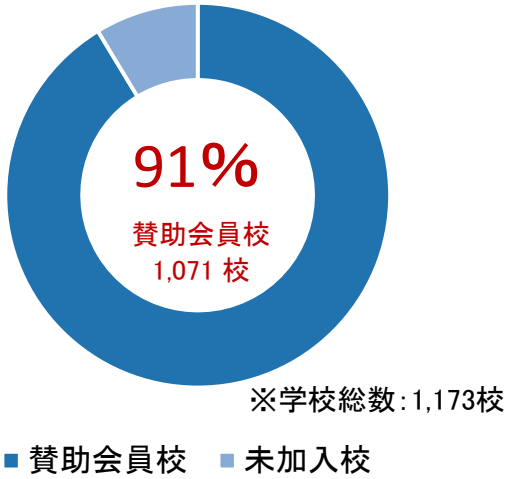
本資料
p.8,9,11,12,32,33,34

【各保険の取扱校数と加入学生数】

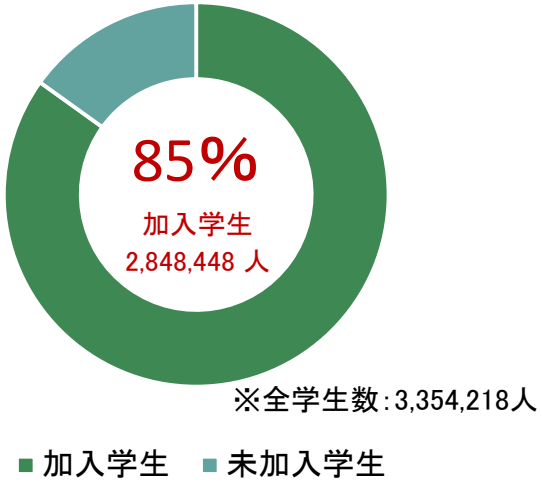
	学研災	通学特約	接触感染特約	付帯賠責	付帯学総	インバウンド	付帯海学
取扱校数	1,071	1,038	363	1,032	846	397	495
加入学生数（人）	2,848,448	2,445,471	283,287	1,685,224	212,539	41,290	66,199

令和8年3月31日現在

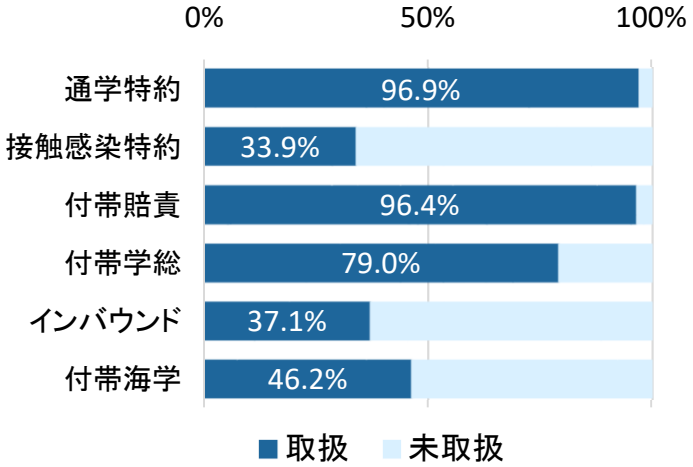
【賛助会員校数と加盟率】



【学研災加入学生数と加入率】



【取扱校の割合】

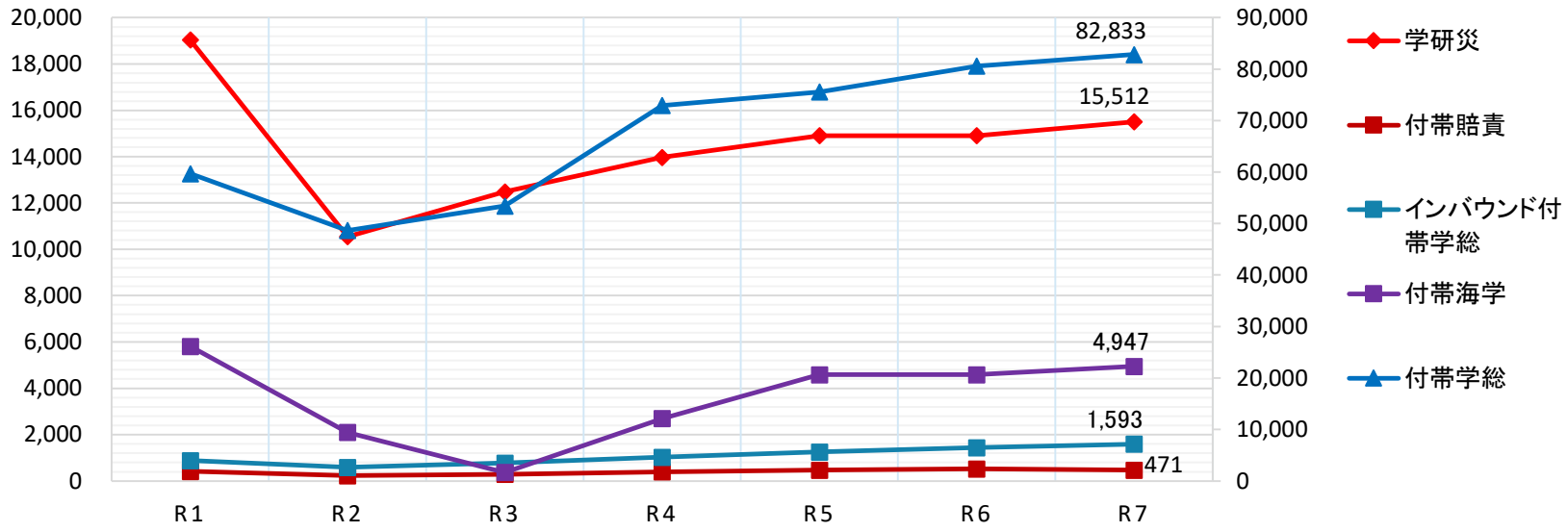


学研災事故の状況～事故件数の推移

本資料
p.17,26,32,33,34

【事故件数の推移】

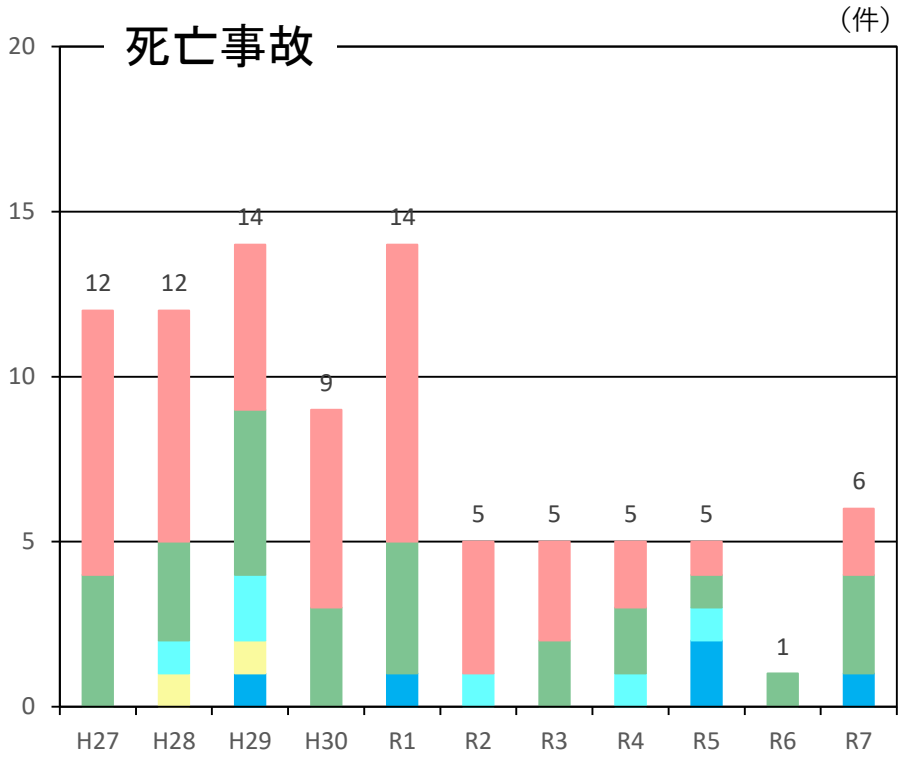
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	前年度比
学研災	19,037	10,552	12,481	13,971	14,914	14,907	15,512	104%
付帯賠責	422	236	291	398	468	527	471	89%
付帯学総	59,706	48,683	53,417	72,971	75,558	80,590	82,833	103%
インバウンド	886	591	774	1,027	1,252	1,446	1,593	110%
付帯海学	5,814	2,099	373	2,697	4,591	4,593	4,947	108%

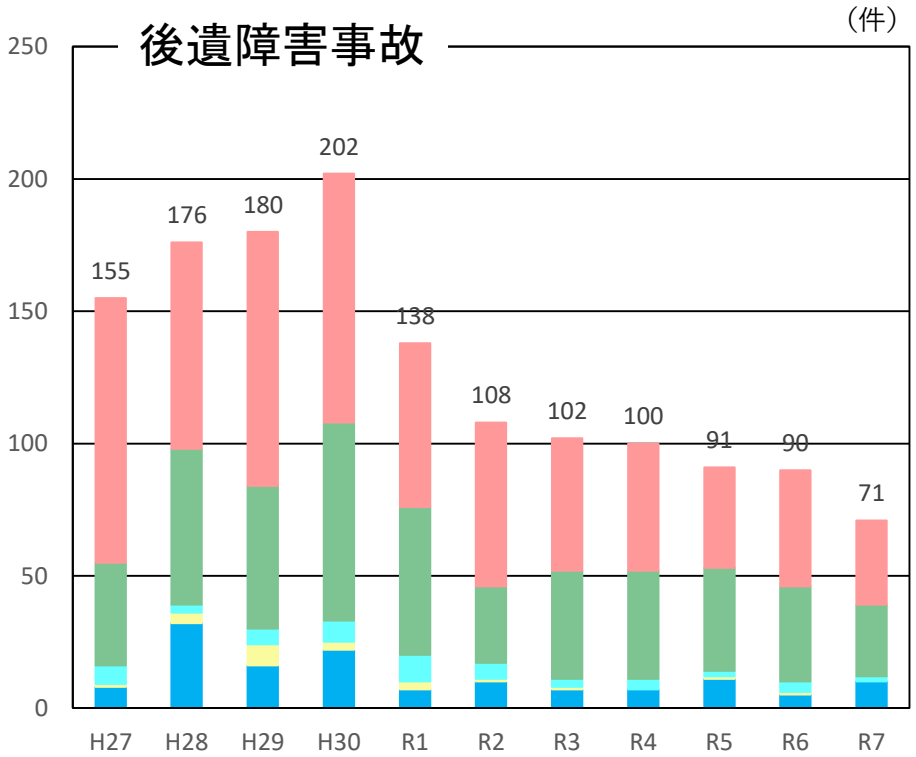


学研災の重大事故～死亡・後遺障害事故

本資料
p.17,24

【事故件数の推移】





■正課中　■学校行事中
■学校施設内　■課外活動（クラブ活動）中
■通学中・学校施設間移動中

✓重大事故は、通学中や施設間移動中の交通事故、課外活動中の事故が大半を占める

学研災の重大事故～主な事例

【死亡事故の事例】

事例はp.36
No.1～6参照

NO	活動形態	事故内容	支払保険金
1	正課中（理系実験）	薬学研究施設内でドライアイスが気化し、酸欠のため死亡。	2,000万円
2	課外活動中	山岳部の縦走登山中に滑落して死亡。	1,000万円
3	課外活動中	ボードセーリング部の活動中に遭難。低体温症となり溺死。	1,000万円
4	課外活動中	グライダー競技の練習中、墜落して死亡。	600万円
5	通学中	野球部の練習後、原付バイクで帰宅中、交差点で軽自動車と出会い頭に衝突し死亡。	1,000万円
6	通学中	バイクで帰宅中、追い越し時に対向する大型トラックと衝突し死亡。	1,000万円

【後遺障害事故の事例】

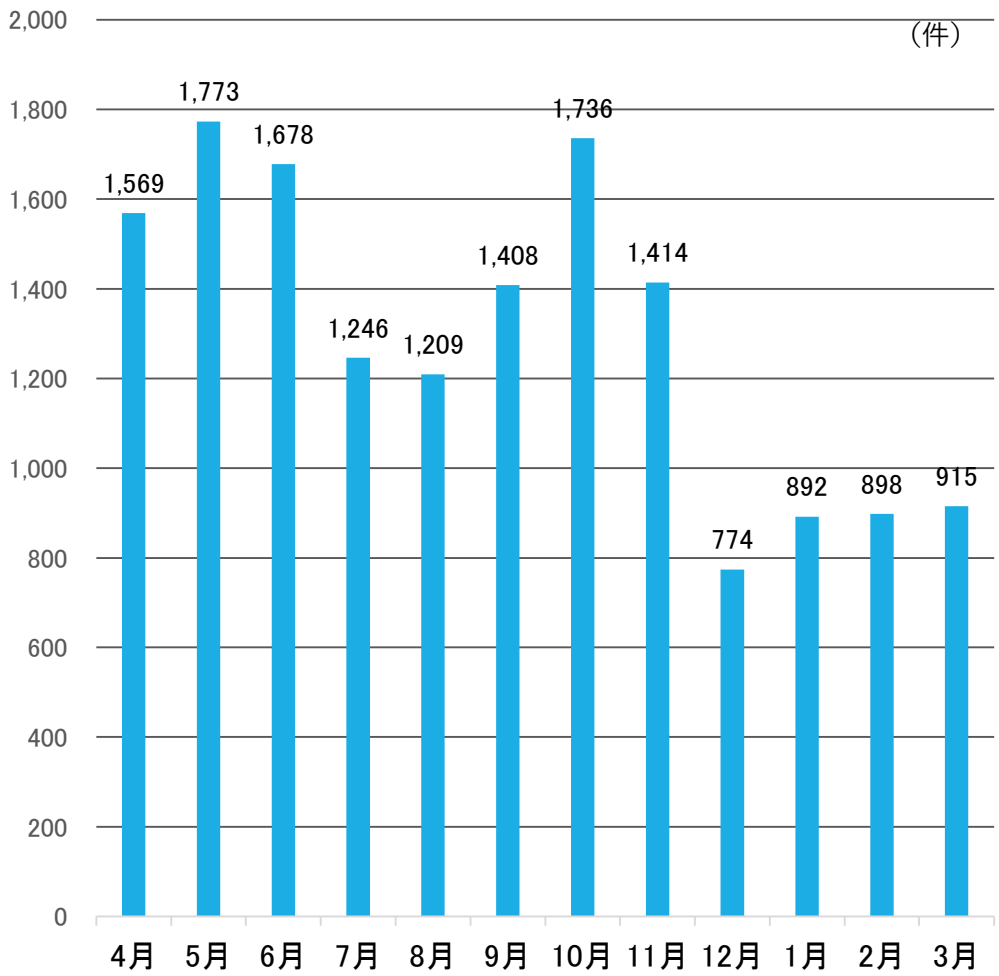
他の事例はp.36～
No.7～41参照

NO	活動形態	事故内容	支払保険金
10	正課中（理系実験）	理系実験中、液体窒素の取扱いを誤り爆発。メタノールに引火して白衣に燃え移ったため腕などに火傷を負い、醜状痕を残す後遺障害を負った。	133万円
15	学校施設内	授業に出席するため構内を歩いていた際に凍結した路面で滑って転倒し、頭部右側を強打。聴覚障害を負った。	574万円
17	課外活動中	新体操部でトランポリンの練習で宙返りをした際、首から落下をして頚髄損傷。神経系統の機能及び精神に著しい障害を残し、常に介護を必要とする後遺障害を負った。	1,602万円
30	通学中	バイクで通学中、軽自動車と衝突し頭部を強打。高次脳機能障害により両眼に半盲症、視野狭窄及び視野変状を残す後遺障害を負った。	1,126万円
32	通学中	看護実習先の病院から車で帰宅中、交差点で出合い頭に車と衝突し重傷。神経系統の機能及び精神に著しい傷害を残し、特に軽易な労務以外の労務に服することができない後遺障害を負った。	633万円
33	通学中	自転車で通学中、前方の車に追突して全身を強打し、前額部裂創、腕及び足等受傷。外貌に相当程度の醜状を残す後遺障害を負った。	404万円

学研災事故の傾向～発生時期

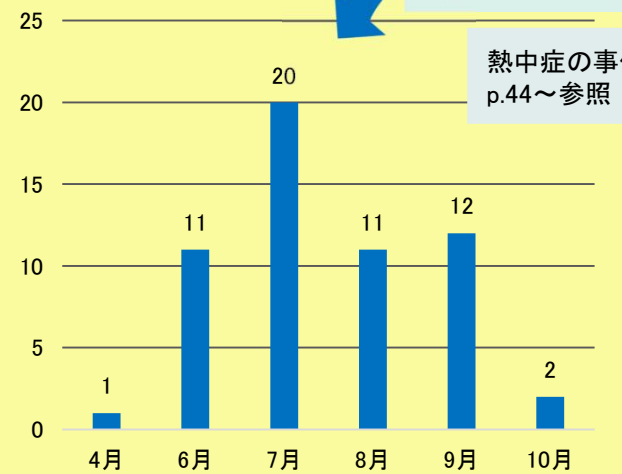
本資料
p.20

【月別事故発生状況】



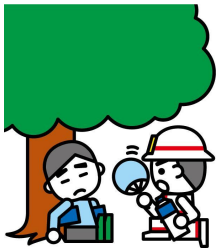
【熱中症の状況】

令和７年度
事故件数：57件



熱中症の事例は
p.44～参照

- ✓ 事故は年度初めと秋に多い
- ✓ 熱中症は７月が例年ピーク
  スポーツ中だけでなく、屋外の実習などでも発生



- 文部科学省「学校安全ポータル」https://anzenkyouiku.mext.go.jp
- 環境省「熱中症警戒情報」https://www.wbgt.env.go.jp/alert.ph

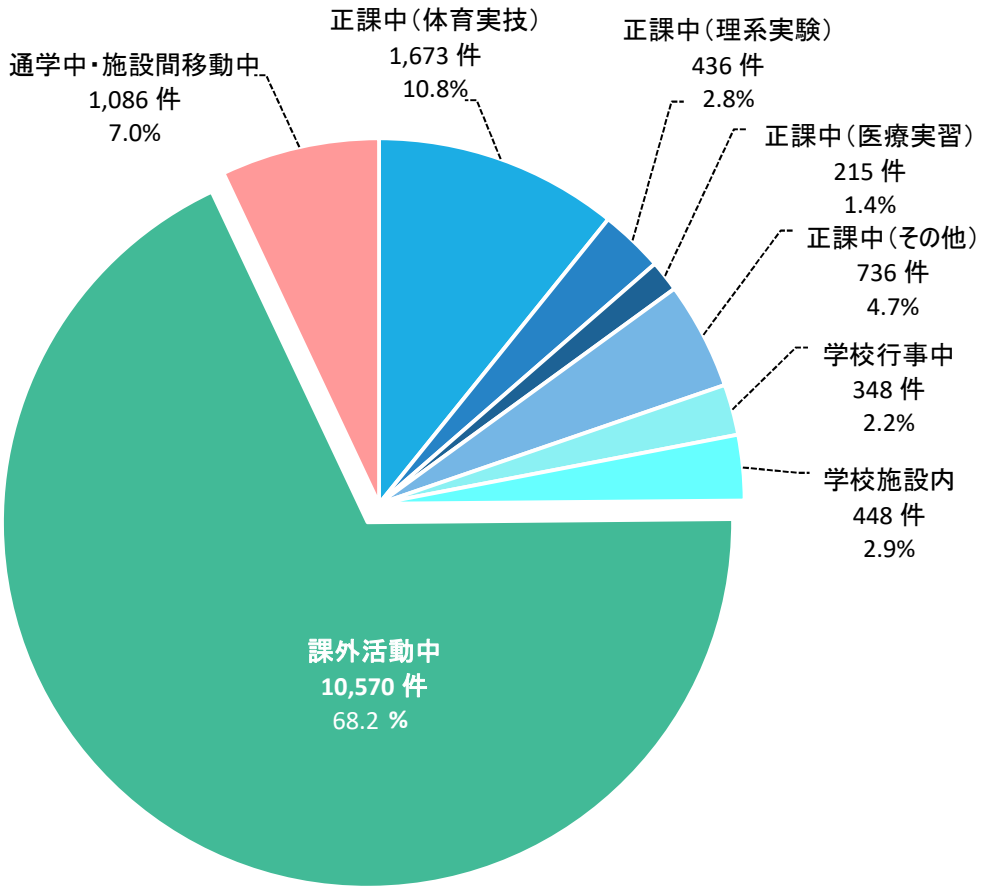
などを参考に熱中症予防対策を！

学研災事故の傾向～活動形態など

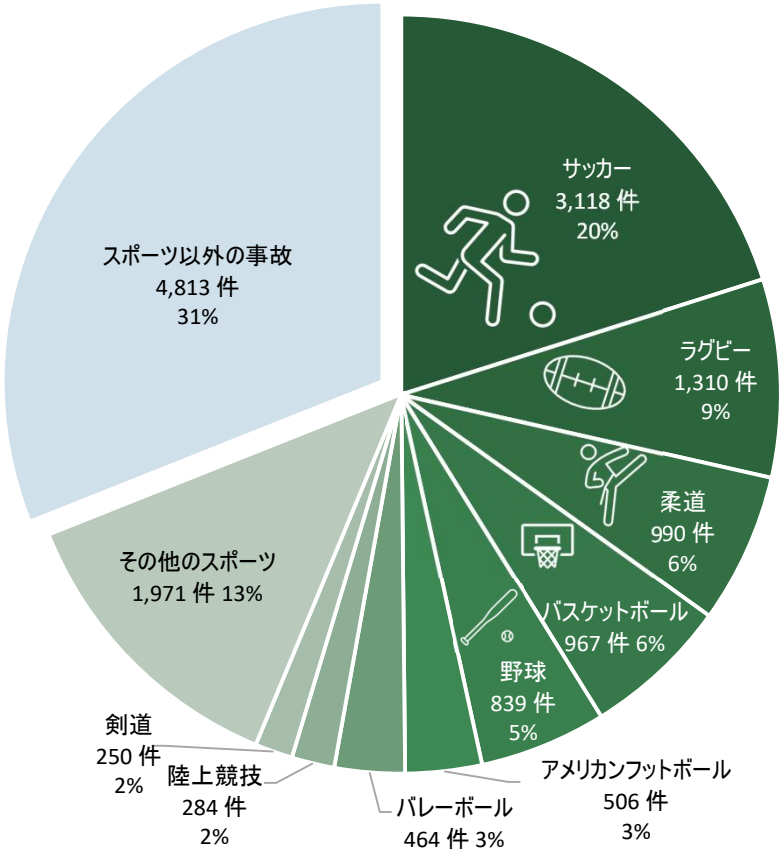
本資料
p.21,35

令和７年度
事故件数：15,512件

【活動形態別の比率】



【スポーツ別の比率】

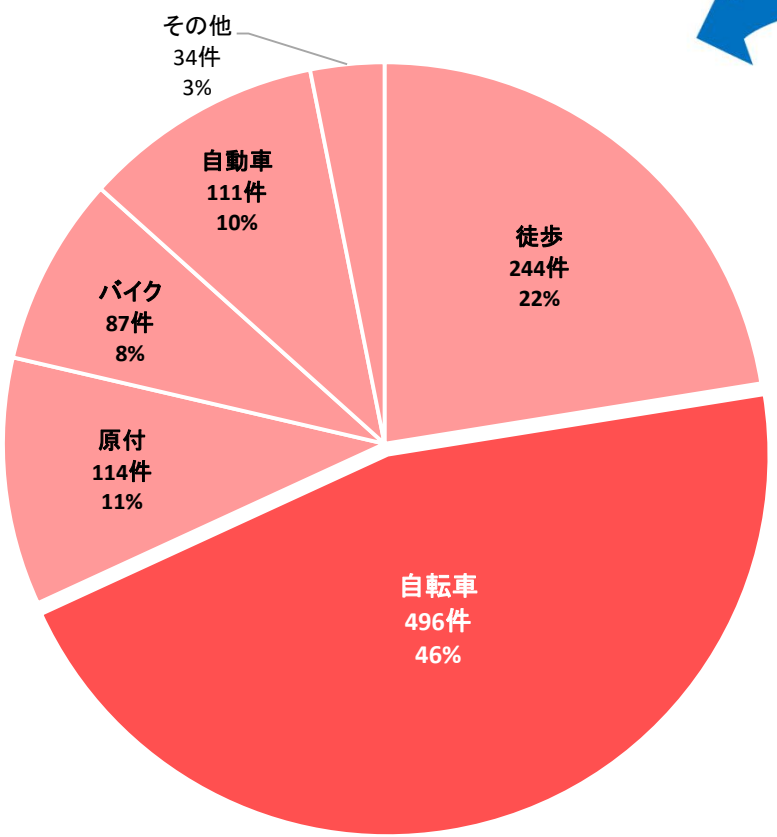


- ✓ 課外活動中の事故が68%と最も多い（10,570件）
- ✓ 正課・課外活動中のスポーツ事故が全体の69%（10,699件）

学研災事故の傾向～通学・移動中の事故

本資料
p.35

【事故時の利用交通手段別内訳】



令和７年度
通学・移動中の事故
件数：1,086件

✓ 通学・移動中の事故は、例年、自転車によるものが約半数を占める

学研災の事例は
p. 36～45 参照

付帯賠責の事例は
p. 46～49 参照

自転車事故の事例

NO	本人のケガ
16	自転車で校内移動中、段差でバランスを崩して転倒し、歯を負傷。
35	自転車通学中、原付バイクと衝突して転倒し、頭部を負傷。
36	自転車通学中、交差点で左折車と衝突し、頸椎を骨折。
94	自転車で校内移動中、雨で濡れた路面のカーブで転倒し、足を骨折。
133	自転車通学中、ハンドルにかけた傘を前輪に巻き込み転倒し、顎を骨折。

NO	付帯賠責の事故（対人・対物）
52	通学中、スマートフォンを見ながら自転車を運転していた際に車と衝突し、車体を損傷。
54	自転車で通学中、タクシーを拾うために車道に踏み出してきた歩行者と衝突し、けがを負わせた。
60	自転車通学中、交差点右折時に、右側から直進してきた自転車と出合い頭に衝突し相手にけがを負わせた。

学校施設内でも自転車事故が発生しています！他人にけがをさせる事故も多く発生！

最近の道路交通法の改正など

令和8年4月　自転車の交通違反に対しての交通反則通告制度（青切符）による取り締まり開始

自動車関係事故の高止まりと法令違反が多いことを背景に、道交法が改正され、従前自転車を含む軽車両は対象外であった違反行為の反則告知（青切符）について、令和8年4月から軽車両も対象となりました。

切符の種類	手続	主な違反内容
赤切符	刑事手続	○酒酔い運転　○妨害運転
青切符	反則金を納付	○信号無視　**○指定場所一時不停止** ○通行区分違反（右側通行、歩道通行等） ○通行禁止違反　○遮断踏切立入り　○歩道における通行方法違反 ○制動装置不良自転車運転　**○携帯電話使用等** ○公安委員会遵守事項違反（傘差し）

令和8年5月警察庁発表の制度導入直後1カ月の青切符告知件数は、全国で 2,147件。
種別の1位は「一時不停止」、2位は「携帯電話使用」。

- **交通事故は、死亡・後遺障害等重大な事故につながります。通学特約にもれなくご加入ください。**
- **道交法改正の動きに十分留意いただき、学内での安全啓発をよろしくお願いします。**

「学研災（傷害保険）」と「付帯賠責」の交通手段別の補償の可否

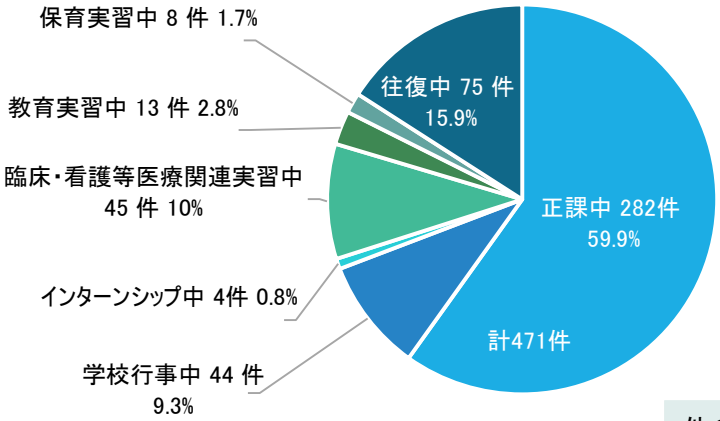
	自転車（電動アシスト含む）	自動車・バイク・原付・モペット	キックボード等	
			人力	特定小型原動機付自転車
自身のけが（学研災※）	○：対象	○：対象	○：対象	○：対象
他人のけが（付帯賠責）	○：対象	×：対象外（自賠責加入義務）	○：対象	×：対象外（自賠責加入義務）

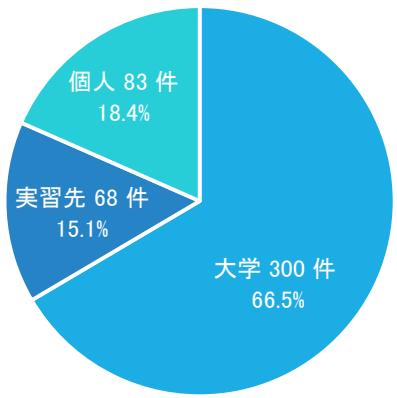
※学研災では通学中・施設間移動中の事故への補償については特約加入が必要。付帯賠責は往復中も補償対象。
（学校が通学手段として禁止している場合はいずれも対象外となります。）

付帯賠責の事故について

本資料
p.27,28,29,30,35

【活動形態別の事故件数比率】【対物賠償事故の賠償相手方】





- ✓ 正課・学校行事・往復中の事故が85%を占める。実習中の事故は約14%で、医療実習時が最も多い
- ✓ 自転車による対人事故は保険金が高額となる事例が多い 詳細はp.35「その3」参照
- ✓ 大学が相手方の機器破損等の賠責事故の比率が高い 詳細はp.35「その4」参照

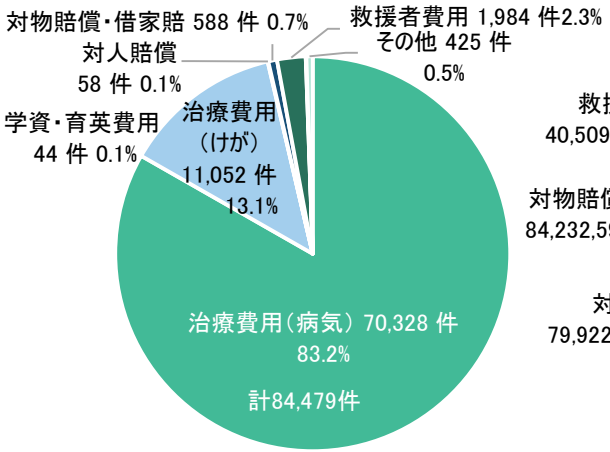
他の事例はp.46～No.1～63参照

NO	活動形態	事故内容	支払保険金
1	正課中	超遠心分離機のローターにサンプルをセットする際にフックが正しく引っかかっていなかったため、サンプルのバランスが崩れ、機器を破損。	676万円
26	学校行事中	大学祭の模擬店でプロパンガスを使用していたところ、鉄板の熱で隣接の窓ガラス2枚を破損。	105万円
40	保育実習中	保育実習先の駐車場で自転車を押して歩いている際、自転車スタンドを駐車中の車にぶつけて、車体を損傷。	12万円
43	臨床医療実習中	実習先で歯科医療用チェアユニットの清掃中、イスを下降させた際に排睡管チューブの接続部分が圧迫され、チェアユニットを破損。	12万円
48	往復中	自転車で通学中、歩道で自転車を追い抜こうとした際、相手方に接触し転倒させ、けがを負わせた。	120万円
55	臨床医療実習中	実験中、操作ミスにより顕微鏡のレンズ部分に溶液をこぼして、顕微鏡を破損。	125万円

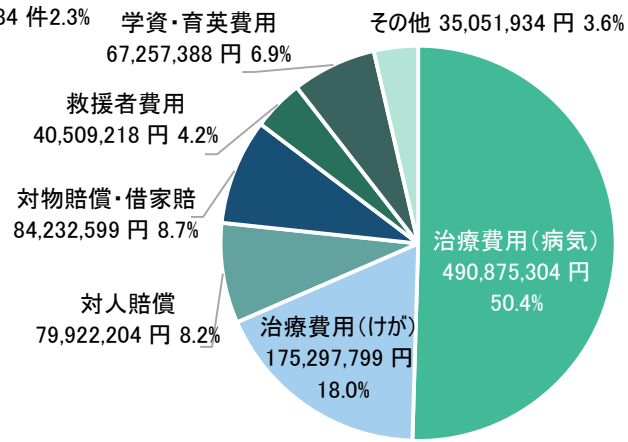
付帯学総の事故について

本資料
p.32

【保険金種別の割合】



【件数】



【金額】

他の事例はp.50～
No.1～97参照

- ✓ 学校管理外の活動や病気治療も補償されるため、学研災の各保険の中で支払件数・金額とも最大
- ✓ 扶養者に万一のことが起きた場合、学資・育英費用の補償は緊急時の学業継続のための奨学金の役割

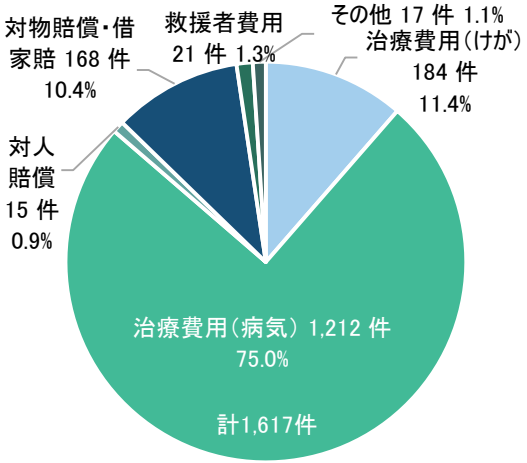
学資・育英費用の事例はp.52
No.68～79参照

NO	保険金種別	事故内容	支払保険金
2	死亡	歩いていたところ、自動車と衝突し、重症頭部外傷により死亡。	300万円
8	後遺障害	アルバイト中に転倒し、脳挫傷、歯牙欠損。	50万円
23	治療費用（病気）	急性リンパ性白血病。入院34日。	67万円
36	対人賠償	自転車で走行中、運送業者にぶつかり、相手が負傷。	1,909万円
56	対物賠償	自転車で走行中、信号のない交差点で出会い頭にバイクと衝突し、相手バイクのフロントが大破。	56万円
73	学資費用	扶養者がコロナにより死亡。	300万円
81	生活用動産	隣室から出火した火事で家財道具が全焼した。	50万円
89	借家人賠償責任	水抜きに失敗して、居室及び階下が水濡れ。	118万円

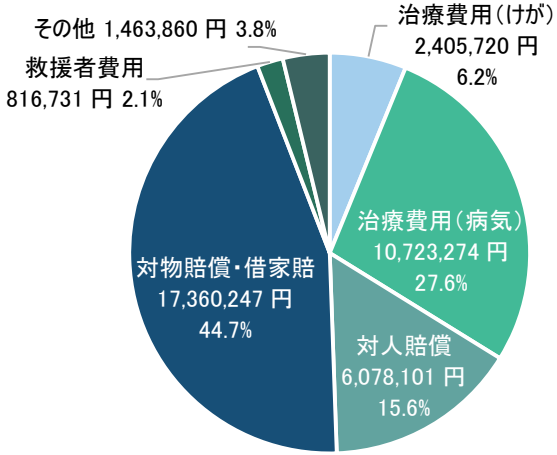
インバウンド付帯学総の事故について

本資料
p.33

【保険金種別の割合】



【件数】



【金額】

- ✓ 学研災本体でカバーされない病気治療の支払件数が最も多い

病気の事例はp.53
No.9～18参照

- ✓ 賠責事故は、支払件数は１割程度であるが、保険金額は６割を超える。発生頻度は低いが、発生した時には損害が大きくなる傾向がある

賠責事故の事例はp.53
No.19～28,33～37参照

- ✓ 外国人留学生にとっては救援者費用の補償も重要

救援者費用の事例はp.54
No.29～32参照

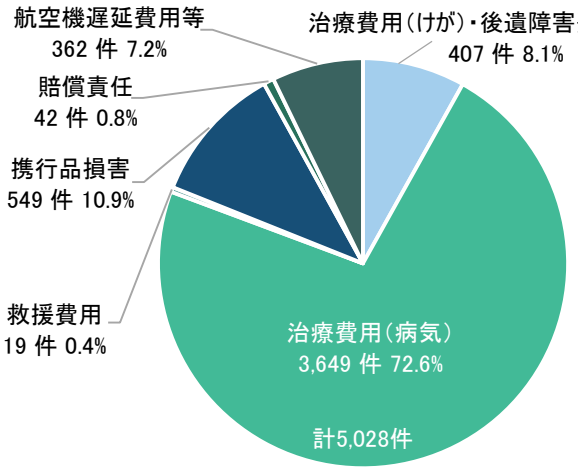
他の事例はp.53～
No.1～38参照

NO	保険金種別	事故内容	支払保険金
1	治療費用（けが）	公園で転倒し、腕を骨折。入院4日。	10万円
18	治療費用（病気） 救援者費用	白血病と診断され、入院78日・通院1日。入院に伴い、ベトナムからの親族の駆けつけ費用等を支払。	41万円
19	対人賠償	自転車で走行中、信号を無視してしまい、横断歩道を渡っていた歩行者にぶつかって、相手が外傷性くも膜下出血を発症。	210万円
23	対物賠償	飲酒後に自転車を運転していたところ、道を曲がる際にバランスを崩して信号で停まっていた自動車にぶつかり、相手自動車が破損。	115万円
29	救援者費用	体育実技中の前十字靭帯損傷による入院のため、マレーシアからの親族の駆けつけ費用等を支払。	26万円
34	借家人 賠償責任	キッチンシンクでヘアスプレーのガス抜きを行った後、調理のためにガスコンロに点火したところ、ガスに引火してシンクが焼損。	36万円
38	生活用動産	掃除中にパソコンにぶつかった際、モニターが落下し破損。	8万円

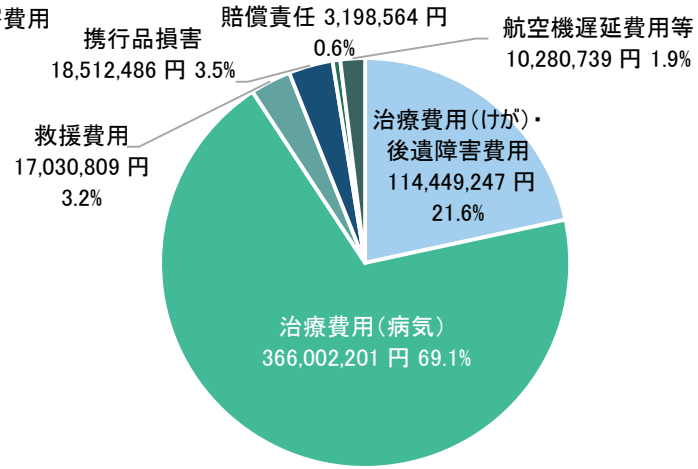
付帯海学の事故について

本資料
p.34

【保険金種別の割合】



【件数】



【金額】

- ✓ 海外留学先での医療費は極めて高額になるケースが多い
- ✓ 下宿先での設備破損による賠償責任事故も発生

付帯海学の事例はp.55～
No.1～41参照

NO	保険金種別	事故内容	支払保険金
1	治療・救援費用（病気）	自宅で食事後、重篤な食中毒症状に陥り、嘔吐物の誤嚥により死亡。（韓国）	1,380万円
18	治療・救援費用（けが）	徒歩で通学中、交差点で走行中の車と接触し左脛骨高原骨折、左足関節骨折。（アメリカ）	3,433万円
19	治療・救援費用（けが）	ホームステイ先で不法侵入した不審者と遭遇し、左腕などを切り付けられて入院。（カナダ）	1,699万円
23	携行品損害	預けていたスーツケースがロストバゲージとなり、紛失した物品を現地で購入し直す必要が生じた。（カナダ）	35万円
35	賠償責任	ホームステイ先のキッチンで調理中、使用していたフライパンが加熱中に破損し、キッチン回りが焼損。（ドイツ）	46万円
38	航空機寄託手荷物遅延等費用	手荷物を預けた後に搭乗を拒否され、手荷物だけが目的地に先行輸送されたため、身の回り品を購入。（スペイン）	3万円

個別相談会

（公財）日本国際教育支援協会

- 制度全体について
- 賛助会員加盟について
- 学研災／付帯賠責の加入・異動事務手続全般
- 学研災管理システム

等のご質問・ご相談はこちらに

東京海上日動火災（株）

- 事故時の対応、保険金請求事務について
- 付帯学総・NGS／インバウンド付帯学総／付帯海学の導入、事務手続き全般
- SkettBook

等のご質問・ご相談はこちらに

ご質問のある方は受付でお配りした個別相談記入用紙にご記入の上、上記担当の列にお並びください。

個別相談会

東京海上日動火災（株）

- 事故時の対応、保険金請求事務について
- 付帯学総・NGS ／インバウンド付帯学総／付帯海学の導入、事務手続き全般
- SkettBook

等のご質問・ご相談はこちらに

（公財）日本国際教育支援協会

- 制度全体について
- 賛助会員加盟について
- 学研災／付帯賠責の加入・異動事務手続全般
- 学研災管理システム

等のご質問・ご相談はこちらに

ご質問のある方は受付でお配りした個別相談記入用紙にご記入の上、上記担当の列にお並びください。